

## 小学校第4学年4組 国語科学習指導案

1 単元名 「体を守る仕組み・これが、『わたし』です」

2 単元目標

- 自分たちの体について興味を持ち、段落相互の関係を考えながら文章を正しく読む。
- 体について疑問に思うことを図書資料やインターネットなどを使って調べ、活用することができる。
- 調べたことや考えたことを、交流を通して深め、目的に応じて整理しまとめることができる。

本単元の考え方

本学級の児童は、総合的な学習「クリーンエイド〇〇〇」で、環境を守るために自分たちに出来ることについて、図書室の本やインターネットなどを使って調べたことをもとに、自分たちの活動の計画を立てるための話し合いを行ったり、環境に対する自分たちの考えをつくったりといった活動を行ってきている。

本単元では、自分たちの体について興味を持ち、段落相互の関係を考えながら文章を正しく読み、さらに、疑問に思うことについて、図書資料やインターネットなどを使って収集した情報を目的に応じて加工・編集したり、調べたことや考えたことを、交流を通してさらに深め、目的に応じて整理しまとめることが出来ることをねらいとしている。

本単元の指導にあたっては、まず、「体を守る仕組み」という題名から思いつくことや自分の経験について十分話し合いをさせていきたい。次に、教材文をまとまりに分けて、段落ごとに説明と体験を比べて読む活動を通して、体を守る仕組みの例示の中で、説明してあることと自分の経験を比べながら読み取らせていきたい。さらに、「これが、『わたし』です」では、体を守る仕組みの学習を通して見いだした、さらに調べてみたいことや疑問について、インターネットや図書資料を使って調べる活動を行わせていく。その際、調べる活動を潤滑に行うことができるようなホームページや調べた情報を書き込んでいくことのできる掲示板を効果的に活用させていきたい。そして、調べた情報をまとめていく活動では、掲示板を効果的に活用させ、目的に応じた情報を加工・編集する活動を通して新聞やパンフレットにまとめる活動を行っていく。さらに、作成した新聞やパンフレットの展示会を行うことを通して、自分の経験や調べたことと比較しながら意見を述べるができるよう交流をおこなわせていきたい。

3 情報教育の目標との関連

本研究の目標は、「児童生徒の情報活用能力が育つように、情報の編集・加工、交流の場面を中心にコンピュータの効果的な活用法を明らかにする。」ことである。その具体的な内容は、各教科の学習において、コンピュータの特性を生かした効果的な活用法の方法について明らかにすることである。そのことをふまえて本単元では、単元の中心的な活動である「調べて書く」活動を児童が行っていく過程において、コンピュータの特性を十分に生かした活用が期待できると考える。特に、本研究の内容である「情報の編集・加工、交流」の場面におけるコンピュータの活用は、本単元において、国語科のねらいである「参考資料を見いだす力」や「必要な部分を見いだす力」、「簡潔にまとめる力」を育てる上においても有効であると考えられる。したがって、児童が学習活動の中で、情報技術を適切に活用するきっかけを用意し、学び方や問題解決の仕方を支援する本単元における取り組みは、児童の情報活用能力が育つコンピュータの効果的な活用法の研究であるといえる。

## 4 単元計画（全15時間）

学習活動と内容	教師の支援・評価
<p>1 単元を見通して学習計画を立てる。 ①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全文を読み，調べてみたいことを書き出す。</li> <li>・ 学習計画を立てる。</li> </ul> <p>2 教材文をまとまりに分けて，段落ごとに説明と体験を比べて読む。④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教材文の内容を詳しく読み取り，課題を解決する。</li> <li>・ 残された課題を整理して次の学習につなげる準備をする。</li> </ul> <p>3 さらに調べたいことや疑問なことなどの課題をつくり，調べる。④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調べたい項目を出し合い，自分の課題を決める。</li> <li>・ インターネットや本などを使って，資料を探し，パソコンの掲示板に書き込む。 (本時3/4)</li> </ul> <p>4 分かりやすいまとめ方を考え，調べたことを文章にまとめる。③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 例示をもとにして，分かりやすいまとめ方を考える。</li> <li>・ 自分なりにまとめ方を選び，掲示板の情報を生かしながら文章に表す。</li> <li>・</li> </ul> <p>5 「これが、『わたし』です」作品展示会をする。②</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材文に出会う前に，「体を守る仕組み」という題名から思いつくことや自分の経験を十分話し合う。</li> <li>○ 体を守る仕組みの例示の中で，説明してあることと自分の経験を比べながら読み取る。</li> <li>○ 課題が解決されていない部分を整理して，調べたい内容を明確に出来るようにする。</li> <li>○ 出された項目を整理し，自分の経験を振り返りながら，調べることを決定させる。</li> <li>◇ インターネットや図書資料から自分に必要な情報を探す方法，目的に応じて必要な事柄を掲示板に書き込んだり，参考にする方法を確認させたりできるよう助言する。(情報の収集・交流)</li> <li>○ 様々な表現方法があることを例示し，児童がまとめ方を具体的に理解できるようにする。</li> <li>○ 課題に合った文章であるかを読み直させ，必要な絵図や表を盛り込みながらまとめることが出来るように助言を行う。</li> <li>◇ 友達の作品を見て，自分の経験や調べたことと比較しながら意見を述べる事が出来るよう交流の方法を工夫する。(情報の交流)</li> </ul>

5 本時 平成16年10月21日(木) パソコン室

## 6 本時の目標

- 自分たちの体について調べたいことを，インターネットを使って調べたり，解決しない疑問について，インターネットの掲示板を通して質問することができる。
- 調べたことの中から自分に必要なことを，校内の掲示板に書き込む(データベース化する)ことができる。

## 7 授業仮説

情報の収集及び交流の場面で、次のような手立てを行えば、情報活用能力を高めることのできる学習活動を行うことができるであろう。

- ① 目的を明確にして作成したホームページの効果的な活用（構成：調べ学習のリンク集、ウェブゲストティーチャーへの質問を行う外に開かれた掲示板（おたずね掲示板）、国語辞典サイト、調べ方やまとめ方を解説したページ）
- ② 収集した情報を書き込み、データベース化できる校内の掲示板（調べたこと掲示板）の効果的な活用
- ③ ウェブゲストティーチャーの効果的な運用

## 8 本時の展開

主な学習活動と内容	教師の支援・評価
<p>1 前時までの学習を想起し、本時学習のめあてを持つ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>体について、インターネットや「おたずね掲示板」を使って調べ、見つけた情報を「調べたこと掲示板」に書き込もう</p> </div> <p>2 インターネットを使って、体について調べ、必要なことを「調べたこと掲示板」に記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ インターネットを使って体について調べる。</li> <li>○ 解決しない疑問について、「おたずね掲示板」に書き込む。</li> <li>○ 調べたことを、「調べたこと掲示板」に書き込みデータベース化する。</li> </ul> <p>3 学習を振り返り、次時の活動内容を確認する。</p>	<p>○ 学習の流れについて説明し、意欲的に取り組めるようにする。</p> <p>○ リンク集やウェブゲストティーチャーに質問をするための掲示板（おたずね掲示板）、調べ方やまとめ方を説明したページを含んだ自作のホームページを作成しておき、活用できるようにしておく。</p> <p>○ 児童が調べたことを書き込み、データベース化するための掲示板（調べたこと掲示板）を作成しておき、活用できるようにしておく。</p> <p>○ おたずね掲示板カードを準備し、必要に応じて活用させる。</p> <p>◇ インターネットを使って調べたことを、「調べたこと掲示板」に書き込み、文字や絵図でデータベース化させていく。 (情報の収集、交流)</p> <p>○ 活動を振り返り、本時学習でわかったことや、次時の活動の計画について発表させる。</p>